

令和3年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

商工労働総務課

1 施設の概要等

施設名	広島県立広島産業会館		
所在地	広島市南区比治山本町12-18		
設置目的	産業及び地域の振興に資する		
施設・設備	展示場(9室), 会議室(1室), 控室等(13室), 駐車場(平日 385 台/土日祝日 452 台)等		
指定管理者	5 期目	R 3. 4. 1~R 8. 3. 31	(公財) ひろしま産業振興機構
	4 期目	H28. 4. 1~R 3. 3. 31	(公財) ひろしま産業振興機構
	3 期目	H23. 4. 1~H28. 3. 31	(公財) ひろしま産業振興機構
	2 期目	H20. 4. 1~H23. 3. 31	(公財) ひろしま産業振興機構
	1 期目	H17. 4. 1~H20. 3. 31	(財) ひろしま産業振興機構

2 施設利用状況

利用状況	年度		目標値 [事業計画]	面積稼働率	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	5 期	R3	22.0%	27.2%	△18.8ポイント	5.2ポイント (123.6%)
4 期平均	H28~R2	49.8%	46.0%	△0.8ポイント	△3.8ポイント (92.4%)	
3 期平均	H23~H27	45.0%	46.8%	6.5ポイント	1.8ポイント (104.0%)	
2 期平均	H20~H22	43.7%	40.3%	△6.4ポイント	△3.4ポイント (92.2%)	
1 期平均	H17~H19	—	46.7%	5.7ポイント	—	
	H16 (導入前)	—	41.0%	—	—	
増減理由	新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、県のワクチン大規模接種会場に利用されたことやまん延防止等重点措置を除く期間では高い利用状況だったことにより目標を上回った。					

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
		1. 催事主催者アンケート 2. 利用者アンケート (利用者が希望する催事)
	【主な意見】	【その対応状況】
	1. 多目的トイレ工事の影響により本館トイレが使用できず不便 2. 利用者が希望する催事は 1) スポーツジヤ-用品等展示即売: 17.9% 2) 玩具・ゲーム展示即売: 11.8% 3) 音楽興行: 10.2% (参考) 催事主催者満足度(アンケート回収率 31.9%) ① スタッフ対応 満足 82.1% (R2 90.0%) ② 施設・設備 満足 70.1% (R2 72.9%) ③ 開催目的の成果 満足 70.1% (R2 61.4%) ④ 今後の利用意向 したい 41.8% (R2 88.6%)	身障者・多目的用トイレ9月着工~3月竣工 今後の集客数増に繋げる催事の検討材料とする。 コロナ禍の影響もあり今後の利用意向が大幅減となっているが、催事のPRを強化し、利用意向の増加につなげていく。

4 県の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 事業報告書
	月報	○ 利用状況報告書
	日報 (必要随時)	○ 必要時に随時電話及びメールで報告
管理運営会議 (随時)	【指定管理者の意見】 本館・東展示館は築50年以上、西展示館は築30年以上の経過により老朽化していることから、修繕の規模等により連携し対応していく。	
現地調査 (随時)	【県の対応】 指定管理者と連携し、長期保全計画による修繕及び利用者ニーズを踏まえた設備等の改修を進めていく。	

5 県委託料の状況

(単位：千円)

県委託料 (決算額)	年度		金額	対前年度増減	料金 収入 (決算額)	年度		金額	対前年度増減
	5期	R3	—	△11,129		5期	R3	181,640	△117,595
	4期平均 H28～R2		11,129	11,129		4期平均 H28～R2		299,235	△14,382
	3期平均 H23～H27		—	—		3期平均 H23～H27		313,617	57,552
	2期平均 H20～H22		—	—		2期平均 H20～H22		256,065	△43,297
	1期平均 H17～H19		—	—		1期平均 H17～H19		299,362	62,242
	H16 (導入前)		—	—		H16 (導入前)		237,120	—

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		R3 決算額	R2 決算額	前年度差	主な増減理由等
委託事業	収入				
	県委託料	—	55,645	△55,645	新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う、県からの利用制限に係る利用料金減収分の県委託料減
	料金収入	181,640	124,741	56,899	利用料金制(※1) 新型コロナウイルスワクチン大規模接種会場の利用及び就職面接会等大規模催事の利用による増
	その他収入	2,651	2,292	359	事業協力金の増(食堂の減免解除)
	計(A)	184,291	182,678	1,613	
	支出				
	人件費	39,278	37,584	1,694	退職引当金等の負担区分変更
	光熱水費	20,851	16,913	3,938	催事件数の増(40件増)
	設備等保守点検費	7,771	7,584	187	冷温水器保守点検費の増
	清掃・警備費等	68,558	64,603	3,955	新型コロナウイルス感染症対策のため清掃・警備体制拡充による増
	施設維持修繕費	3,690	22,571	△18,881	大規模かつ緊急用修繕等がなく、小規模修繕での対応に収まったため
	事務局費	23,747	26,802	△3,055	事務費の削減を徹底したことによる減
	その他	5,725	6,621	△896	公課費の減
	計(B)	169,620	182,678	△13,058	
収支①(A-B)	14,671	0	14,671		
自主事業(※2)					
収入(C)	0	0	0		
支出(D)	0	0	0		
収支②(C-D)	0	0	0		
合計収支(①+②)	14,671	0	14,671	変動納付金 14,671	

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目	指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
<p>施設の効用発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> ○施設の設置目的に沿った業務実績 ○業務の実施による, 県民サービスの向上 ○業務の実施による, 施設の利用促進 ○施設の維持管理 	<p>施設のリノベーションとして, 本館の多目的トイレの改修, 東館の荷物搬入用自動ドアの整備を行った。</p> <p>駐車場が大規模催事等で満車となった場合に, 周辺道路の渋滞解消に向け, 交通誘導案内の表示板を設置した。</p> <p>「広島 BOX～メイド・インひろしまギャラリー」や「C-LOUNGE デザインギャラリー」において, 県内製品等の展示等を行うとともに, 「メッセひろしまギャラリー」において広島で活躍するクリエイターや企業等の新たな成功事例等を紹介した。</p> <p>広島市及びその近郊を放送エリアとするコミュニティFM放送局で, 月に一度, 翌月の広島産業会館のイベントを効果的にPRし, 催事者とリスナーの定着化を図った。</p>	<p>施設の老朽化が進む中, 利用者の利用促進につながるリニューアルを進めることで, 満足度の向上に努めている。</p> <p>マスコミとの連携によりイベントの効果的なPRを行う等, 利用促進に積極的に取り組んでいる。</p> <p>県内製品等の展示や広島で活躍する方々や企業等の成功事例等を紹介することで, 県の産業振興に寄与している。</p>
<p>管理の人的物的基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> ○組織体制の見直し ○効率的な業務運営 ○収支の適正化 	<p>長期化する新型コロナウイルス感染症拡大を要因とした催事の中止や延期による収入減を踏まえて, 修繕等工事の延期や事業の見直し等により可能な限り支出の削減に努めた。</p>	<p>経費の削減に積極的に取り組み, 変動納付金を確保できている。</p>
<p>総括</p>	<p>令和3年度は, 長期化する新型コロナウイルス感染症拡大による催事の中止等の影響により施設利用料金は目標額には未達であったが, 徹底した経費の削減により, 県委託料を受けることなく収支は黒字となり, 14,671千円を県に納付するに至った。</p> <p>展示場延利用床面積は, 県の新型コロナウイルスワクチン大規模接種会場として利用されたことや大型催事が予定どおり実施されたことにより 536,961㎡で, 面積稼働率は27.2%となり, 目標の22.0%を上回った。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大に伴う利用取消があったが, 年間を通しては, 催事件数は昨年度を上回り, 利用料金収入増となり, 面積稼働率については目標数値を達成しており, 利用促進に向けて適切な運営を行っている。</p>

8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
<p>短期的な対応 (令和4年度)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響から利用取消が相次ぐ中、施設管理者として、新型コロナウイルス感染症に係る国・県の対応方針に適切に対応するとともに、感染拡大の影響を踏まえた収支予測を行ったうえで、事業の優先順位を付けて実行する。 ○ 施設のバリアフリー化をより一層進めるため、本館に車椅子など、高齢者や障害者の円滑な移動を支える昇降機を整備する。 	<p>利用者の利便性、施設の魅力向上により展示場の利用促進を図るため、指定管理者の取組をサポートしていく。</p>
<p>中期的な対応</p>	<p>景気の後退期に新型コロナウイルス感染症拡大が重なり、展示会やイベントの中止や撤退を検討する企業も見られるため、顧客への訪問営業や利用を控えているリピーターの掘り起こし・利用者アンケート等により、閑散期や稼働率の低い会場の利用促進策の検討など、今後の収支改善に向けた取組を強化する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症の収束後を見据え、利用促進及び計画的かつ効果的な修繕に向けて県と指定管理者で連携して進めていく。 ○ 施設の長寿命化に向けて、大規模修繕を計画的に実施していく。